

政策コメンテーター報告(第1回)【意見照会期間:2016年2月12日～2月22日】: 佐藤 寛 公益財団法人東北活性化研究センター 事務理事・事務局長

質問事項		選択式回答	記述式回答
<b>経済動向</b>			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>	良くなっている	<p>東北地域の景気について 景気ウォッチャー調査では、ここ2ヶ月回復基調にあるが、好不況を表す指数は50を下回っており好調とは言えない。 直近(1月)では、家計動向は気候に左右されるため、業種によるばらつきがあるが、一進一退が続いている。ここ半年を見ると、賃金上昇幅が小さいことや消費税率再引き上げに不安があることなどから、消費者の節約傾向が見られる。 一方、海外旅行者数(外国人延べ宿泊数比較、平成26年)が全国の0.8%しかなく、爆買いも少ないので、全国で訪日外国人旅行者の数が増えなくても東北地方にはその経済的影響は殆ど無い。</p>
<b>2016年前半に取り組むべき課題</b>			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>	-	回答なし